

③スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

ブラジル「日本の国際協力60周年記念イベント」

JICA日系社会青年海外協力隊 野球・ソフトボール隊員による国際親善試合 2019年5月18～19日



JICA野球隊員チーム vs 現地成人チームの試合後

背景/課題

ブラジルにおける日本の国際協力60周年を記念し、同国内7州15都市で活動中のJICA日系社会青年海外協力隊員15名(職種:野球・ソフトボール)がサンパウロ近郊に集まり、現地成人チームとの国際親善試合および野球・ソフトボール教室を実施した。

目的

- 地域における野球普及と発展
- 日系社会との連携強化
- 日本-ブラジル相互理解の深化

活動内容

- 協力隊と現地成人チームとの国際親善試合
- 野球・ソフトボール教室の開催

成果

- 野球・ソフトボール教室には計200名以上の少年少女が集まり、隊員による指導に真剣な表情で聞きいった。ブラジルではマイナースポーツの野球・ソフトボールの認知度が高まり、教室や親善試合で模範を示す事で競技レベルの向上が図られた。
- 隊員たちが、試合前のノック、試合中の全力プレー、試合後のグラウンド整備まで「日本人らしいプレー」を心がけたことで、「チームプレーを重んじる事(思いやりの心)」、「常に全力でプレーする事(対戦相手への敬意)」、「試合後のグラウンド整備(ものを大切にする姿勢)」等の「日本人らしさ」とは何かが伝えられた。